

## 2-2 文化芸術の振興

### ■現況と課題

#### 1. 文化芸術活動の振興

心豊かな生活や心のつながりを求めて、文化芸術活動に対する関心が高まっています。

総合文化会館では文化芸術活動の拠点として、日常的に各種文化団体の活動が活発に行われ、町としても芸術鑑賞、発表機会の提供や団体の育成など、文化芸術活動の振興に取り組んでいます。

一方、各文化団体・サークルでは会員の高齢化や指導者・後継者の確保、会員の減少などの課題を抱えており、文化協会と連携しその対応に取り組む必要があります。

また、次世代の文化芸術を継承する子どもたちが本物の文化芸術活動に触れて、豊かな心や感性と郷土愛を育ていける環境の整備は重要であり、芸術鑑賞事業や文化施設の有効活用、郷土芸能保存活動への支援を継続していく必要があります。

今後は、地域の特性を活かした個性豊かな地域文化の創造など、地域・行政・関係団体が連携し、人材の育成と発掘を行い、さらに文化芸術活動を活発化させる必要があります。

伏木田光夫美術館では美術館協力会と連携し、郷土出身の画家伏木田光夫氏の作品展示や企画展、絵画教室などを開催していますが、さらに地域に密着した美術館活動が求められています。

#### 2. 文化財の保護・活用

文化財は、私たちの歴史や文化の正しい理解に欠くことができず、将来の地域文化向上の基礎をなすものであり、地域の財産として適切に保存・活用していく必要があります。

また、子どもたちが体験を通して文化財に親しむ心を育てるために、文化財少年団の育成を図るとともに、博物館友の会などの関係団体と連携した活動を推進する必要があります。

特に、馬事資料館は全国でもめずらしい馬の博物館であり、「馬文化」の情報発信施設として資料の収集と整備を充実させることが求められます。

### ■今後の方向性

#### 1. 文化芸術活動の充実

(1)文化団体への活動支援や指導者の育成、相互交流・発表の場の提供などにより、町民の文化芸術活動を支援します。

(2)音楽や演劇などの芸術鑑賞機会と、美術・工芸の展示会など、町民が気軽に優れた文化芸術にふれる機会の充実を図ります。

(3)芸術文化活動を芸術文化の情報・知識などの学習機会の提供や、指導者の資質向上のための養成など、各サークルの育成強化に努めます。

(4)青少年が主体的に文化芸術活動に参加できるよう、中高生などの音楽発表会を拡充するとともに、和太鼓など郷土に根ざした伝統芸能の保存や継承に努めます。

(5)地域に根ざし広く町民に親しまれる美術館の振興を図るため、関係団体と連携を図りながら、収蔵作品の展示のほか、中高生や絵画団体・愛好家による企画展などを開催し、魅力あ

る美術館運営に努めます。

## 2. 文化財の保護・活用

(1)郷土の文化財・文化遺産を後世に伝えるため、デジタル化を含めた資料収集や調査研究に努めるとともに、企画展や常設展で積極的な活用を図ります。

(2)地域の財産であるアイヌ民俗文化財の保存と伝承を図るため、重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」の公開発表の機会を充実させるとともに、アイヌ民族文化財の調査研究を進めます。

(3)文化財保護思想の普及のため、地域の文化財を用いた、各種講座の開設や小中学校の総合的な学習、地域の生涯学習教材として活用を推進するとともに、文化財少年団や博物館友の会の活動の育成強化を図ります。

(4)馬産地浦河として馬事文化を広く継承することが大きな役割であることから、常設展示品の展示替えを行うなど馬事資料館の整備充実を図るとともに、「馬」に関する資料の収集とデジタル化を進めます。

## ■実施事業

- ・文化情報誌の定期的発行
- ・文化団体活性化と団体間のネットワーク化
- ・十勝圏域等との広域的な連携
- ・芸術鑑賞事業
- ・町民芸術祭開催事業
- ・町民参加型舞台創造事業への支援
- ・総合文化会館利用促進事業
- ・サークルの育成と指導者の養成・発掘
- ・子ども体験教室や児童生徒芸術鑑賞事業、ウィークエンドライブの開催
- ・郷土芸能育成事業
- ・美術館協力会育成事業
- ・赤心記念館の常設展示品の展示替え
- ・博物館機能の充実
- ・埋蔵文化財の各種講座での活用
- ・地域文化資料の収集・保存
- ・アイヌ古式舞踊の公開発表
- ・アイヌ文化継承者の育成
- ・アイヌ民族文化財調査記録事業
- ・浦河アイヌ文化保存会の育成および支援
- ・博物館年報の内容充実
- ・博物館紀要の発行
- ・埋蔵文化財保護啓発普及事業
- ・文化財団少年団博物館クラブ
- ・博物館友の会育成事業
- ・馬事資料館の常設展示品の展示替え
- ・馬事文化の保存・継承